

TANGO なにわ 2019

日 時 2019年6月29日 (土) 13:00 (開場12:40)

場 所 大阪府中央区東心斎橋 島之内教会

演 奏 千葉ギターアンサンブル (CGE)、Tango 03 (タンゴ オーサン)

プログラム

〈第1部〉	CGE	(1) Fumando espero (君を待つ間)	ファン・P・マサナス
		(2) Organito de la tarde (黄昏のオルガニート)	カスティージョ兄弟
		(3) Esperar (希望)	エンリケ・S・ディセポロ
		(4) La Rosarina (ロサリオ娘)	リカルド・ゴンザレス
		(5) Buenos Aires (ブエノスアイレス)	マヌエル・ホベース
	Tango03	(6) El amanecer (夜明け)	ロベルト・フィルポ
		(7) Gran Hotel Victoria (ホテル・ビクトリア)	フェリシアーノ・ラタサ
		(8) Tu Olvido (君の忘却)	ビセンテ・スピナ
		(9) Tanguera (タンゴの好きなお嬢さん)	マリアノ・モレス
		(10) Buenos Aires (ブエノスアイレス)	マヌエル・ホベース
休憩			
〈第2部〉	CGE	(11) Lo han visto con otona (魅せられし心)	オラシオ・ペトロッシ
		(12) 9 de Julio (7月9日)	ホセ・ルイス・バドウラ
		(13) Recuerdo (思い出)	オズバルド・プグリエーセ
		(14) Tango nocturno (夜のタンゴ)	オットー・ボルグマン
		(15) Acquaforte (銅版画)	ペトロッシ&カタン
	Tango03	(16) Organito de la tarde (黄昏のオルガニート)	カスティージョ兄弟
		(17) Recordando de Canaro (カナロの思い出)	フランシスコ・カナロ・メドレー
		(18) Libertango (リベル・タンゴ)	アストル・ピアソラ
		(19) La ultima curda (最後の酔い)	アニバル・トロイロ
		(20) Silueta porteña (ブエノスアイレスの影法師)	クッカーロ兄弟

演奏曲紹介 (CGE)

- (1) Fumando espero (君を待つ間) (ファン・P・マサナス 1923)
初演はスペインのバルセロナ。メロディーと歌詞はスペイン風だったが、ブエノスアイレスに移住した歌手タニアが歌った。その後エクトル・バレラがベテラン女性歌手に歌わせて大ヒットとなった。
- (2) Organito de la tarde (黄昏のオルガニート) (カトゥロ・カスティージョ 1924)
オルガニートは手回しハンドルのついた小型オルガン。1900年代の下町の風物だった。哀れな老人と助手の若者は老人の娘である恋人を探して下町をさまようという悲しいドラマ。
- (3) Esperar (希望) (エンリケ・S・ディセポロ 1937)
映画の主題歌。その後アルゼンチンでは忘れさられたが藤沢嵐子が得意とし親しまれた。題意は歌詞の内容から「待ちましょう」というところでしょうか。歌謡曲的な感じが日本では受けたようです。
- (4) La rosarina (ロサリオ娘) (リカルド・ゴンザレス 1912)
古いタンゴゆえに昔風の中に力強いリズム感があふれる。ゴンザレスはギターとバンドネオンの奏者。ギター奏者がバンドネオンも弾くのは当時の時代の流れ。ロサリオはブエノスアイレスに次ぐ大都市。
- (5) Buenos Aires (ブエノスアイレス) (マヌエル・ホベース 1923)
長く外国にいてブエノスアイレスを想う。快樂に疲れ果て、想うのはわがふるさとブエノスアイレス。「遠くにいればいるほど思いがつのる。死んでもあの街を忘れない」と歌う。
-
- (11) Lo han visto con otra (魅せられし心) (オラシオ・ベトロッシ 1954)
あの人のほかの彼女と一緒にだったと告げられた。あんな人愛していないと強がりと言っていたのに、愛を知るタンゴよ、今宵こそ悲しむ女の窓辺に、バンドネオンの嘆きのこだまを伝えておくれ
- (12) Nueve de julio (7月9日) (ホセ・ルイス・パドゥラ 1908)
7月9日はアルゼンチンの独立記念日。当初は愛国的な歌詞であったが全く流行らず、1931年にパシヤルドが7月9日に失った愛を歌う歌詞をつけて以後ヒットした。その後は歌無しで弾かれる。
- (13) Recuerdo (思い出) (オスバルド・プグリエーセ 1924)
初演された頃は全く注目されなかったが、有名楽団が弾くにつれ高く評価されるようになった。港に近いカフェを舞台に青春の恋を回想するセンチメンタルな曲。
- (14) Tango nocturno (夜のタンゴ) (オットー・ボルグマン 1937)
コンチネンタルタンゴの代表曲。幸福な女性が愛児を失い、夫にあらぬ疑いをかけられ失踪する。やがて夜の女になり麻薬に溺れる。誤解に気付いた夫に救われるが彼女は自ら命を絶つ。映画主題歌。
- (15) Acquaforte (銅版画) (オラシオ・ペトロッシ&カルロス・カタン 1930)
キャバレーにうごめく人間像をスケッチしたところから、題名がついた。深夜のキャバレーでの大騒ぎの客を見てもはや年老いた主人公は一人悲しみに沈む。

演奏曲紹介 (Tango 03)

(6) El amanecer (夜明け) (ロベルト・フィルポ 1910)

飲み呆けて家路につく朝帰りの遊び人、早起きして仕事に出かける元気な労働者達、ブエノアイレスの下町の夜明けの風景。今日も小鳥がさえずる。Tango 03 のテーマ曲

(7) Gran Hotel Victoria (ホテル ヴィクトリア) (ファリシアーノ・ラタサ 1906)

ビクトリアホテル開店記念式の曲。作曲者はタンゴ作品初めてのクラシック作曲家のイタリア人。最初は全く人気がなく忘れられていたが1935年に名人ダリエンソが弾いて復活・名曲となった。

(8) Tu olvido (君の忘却) (ビセンテ・スピナ 1932)

「僕が君を愛したころ、そこに嘘はなかった。僕の歌は君の忘却を恨んではない。ただバラの花が咲いた木を見ると、なくした夢がまた戻ってきてしまう」ギタリスト・スピナのせつないワルツ

(9) Tanguera (タンゴの好きなお嬢さん) (マリアノ・モレス 1955)

作曲者は「暗闇の彼方から黒人の祭りの響きがゆっくりと近づいてくる。そこからタンゴが生まれてくると言う抽象画のような憧憬を音楽にした」とか。日本では今も人気の大ヒット名曲。

(10) Buenos Aires (ブエノスアイレス) (マヌエル・ホベース 1923)

今回の交流会での「競演曲」CGE 先行 (5)。同じギターアンサンブルでどのように「差」が出るかをお楽しみください。編曲、演奏法、練習回数、意気込み、負けん気、いろいろありますね。

(16) Organito de la tarde (黄昏のオルガニート) (カトゥロ・カステイージョ 1924)

「競演曲」二曲目、CGE 先行 (2)。競演は皆様の拍手が決め手です。ホームとアウェイの差もありますが、ご判定よろしくお願いいたします。最後はビデオチャレンジか！

(17) Recordando de Canaro (カナロの思い出) (フランシスコ・カナロ曲 メドレー)

タンゴの神様フランシスコ・カナロの名曲をわが Tango 03 リーダーがメドレーに編曲。「パリのカナロ・黄金の心・ひよこ・君の瞳に魅せられて・ガウチョの嘆き」の5曲、本邦初演。

(18) Libertango (リベルタンゴ) (アストル・ピアソラ 1974)

曲作りに苦しむピアソラがイタリアに移住し心機一転作曲した名曲。タイトルは「自由なタンゴ」というピアソラの造語。束縛から解放され自由奔放な雰囲気、スピード感とダイナミックなリズム。

(19) La última curda (最後の酔い) (アニバル・トロイロ 1925)

歌詞も難解、曲も技巧的なトロイロらしい名曲。「バンドネオンが私の心を締め付ける。お前の涙がバンドネオンをふるえさせ、酒を求めるのは古い恋、酔いが芝居を終わらせる」

(20) Silueta porteña (ブエノスアイレスの影法師) (F&N・クッカーロ 1946)

軽快でさわやかなミロンガのリズムが多くの人に愛されてきた。「下町のミロンガのリズム、澄み切った空、君はアルゼンチン国旗を誇り高く額に巻き、髪には雲のレース飾り、瞳は太陽の輝き」

演奏者のプロフィール

CGE (千葉ギターアンサンブル)

1974年創立。以来、プロギタリスト小胎剛氏の指導のもと、千葉ギターアンサンブル(略称 CGE)として活動しています。タンゴ、ポピュラー、クラシック、日本の歌など幅広いレパートリーを持ち、千葉市を拠点に年間 20 回近くコンサートを行っています。ギターを通して夢を語ることを、この仲間といつまでも続けたいと願っております。



T03 (TANGO 03)

大学時代のギター部の仲間が30数年ぶりに集まって、2003年にアルゼンチンタンゴの”オーサン(王様)にあやかりたい”オッサン”集団として命名され、結成したタンゴアンサンブルです。編曲はすべてオリジナルで、この写真は「編曲 100 曲記念コンサート」(2017年6月)の演奏後のほっと一安心の時の満面の笑顔集団です。演奏活動として数々のギターフェスティバルや天満音楽祭、造船屋音楽会等に参加しています。今回の CGE との交流会は2006年浜松での開催から13年目、「競演」をおおいに楽しみにしています。

